



ノダグループは、木を活用した心地よい空間づくりによって社会に貢献しながら、着実な成長を目指します。

代表取締役社長
野田 励

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの第85期第2四半期連結累計期間(2021年12月~2022年5月)の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

2022年8月

営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除され、経済活動が徐々に再開し始めましたが、資材価格や電力料の高騰、海上物流の混乱、さらにはロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安などが重なり、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

住宅業界におきましては、2021年春に顕在化したウッドショックが解消しておらず、木材の供給不足や価格高騰が継続する厳しい事業環境となりました。また、新設住宅着工戸数については、総戸数は前年同期と比較して増加しましたが、2021年秋の住宅ローン減税契約期限到来に伴う駆け込み需要の収束や、資材価格高騰による住宅価格上昇の影響から、持家の戸数が前年同期で減少するなど一部で弱含みの動きが見られました。

このような事業環境において当社グループは、引き続き原材料の確保や製品の安定供給に努め、コストダウンや生産性向上に取り組むとともに、原材料等の急激なコストアップへの対応として建材製品の販売価格改定を行い収益の確保に努めました。合板製品については、原材料コストや輸入コストが上昇するなか、国内相場の先高感から、販売価格は大幅に上昇いたしました。また、建材製品のシェア確保や国産材(間伐材、未利用材等)の活用を推進するとともに、ビジョン2030「木の心地よさを住まいから様々な空間へ」の実現に向け、非住宅分野やリフォーム・リノベーション分野の市場開拓にも積極的に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高38,641百万円(前年同期比24.7%増)、営業利益4,694百万円(同200.2%増)、経常利益4,985百万円(同

186.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,983百万円(同183.6%増)となりました。

●セグメント状況●

<住宅建材事業>

「ビノイエ」「モードコレクト」など内装建材シリーズの拡販に引き続き取り組みました。フロアについては、国産針葉樹合板とMDF(中質繊維板)の複合基材で抗ウイルス加工も施した「ラスティックフェイス リッチ・Jベース」や、マンションなどリフォーム・リノベーション需要への対応として各種防音フロアの販売に注力し、シェア確保に努めました。

また、バリアフリー商品群「ユニバーサル ディレクト」や木造中規模物件用建築工法「BIG-MJシステム」を足掛かりに、高齢者施設や幼保施設、集合住宅、店舗など非住宅分野や中規模物件の市場開拓、販売強化に取り組みました。

MDFについては、輸入チップや廃木材チップなど原材料の確保に努めながら、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用ハイベストウッド(HBW)や、資本業務提携先のIFI社(インドネシア)製の輸入MDFの安定供給に取り組みました。

なお、原材料・副資材コストや物流コストが急激に上昇する厳しい事業環境が続くなか、前期の後半に実施した合板基材フロアやラスカット(外装内装下地材)の販売価格改定に引き続き、昨年12月に国産針葉樹合板とMDFの複合基材フロアやMDF単層基材フロア、HBW、本年3月には建具やフロア、HBWなど建材・MDF製品全般の販売価格改定を行い、収益の確保に努めました。

この結果、住宅建材事業の売上高は21,957百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益は1,453百万円(同0.7%減)となりました。

<合板事業>

国産針葉樹合板は、前期の後半以降、住宅需要の回復やウッドショックによる原木不足・価格高騰などの影響から、国内在庫は引き続き低水準で推移いたしました。当期もこの状況は解消しておらず、原木・接着剤の仕入コストや物流コストは上昇いたしました。合板需給が極めて逼迫するなか、販売価格の大幅な上昇が続きました。

輸入南洋材合板は、生産現地であるインドネシアやマレーシアにおいて、引き続き原木の供給量や人員が不足しており、生産量は低迷いたしました。このため、産地価格は上昇が続き、国内の販売価格も上昇いたしました。

この結果、合板事業の売上高は16,684百万円(前年同期比45.9%増)、セグメント利益は4,192百万円(同379.9%増)となりました。

配当について

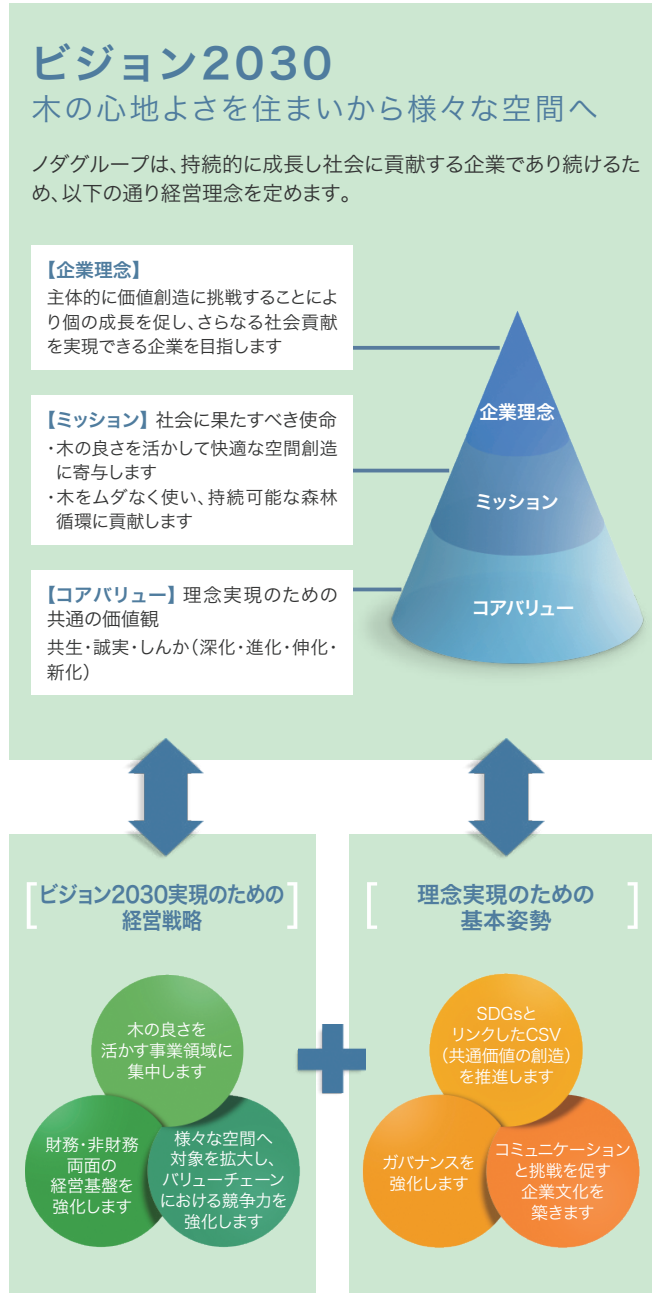
当期の中間配当金につきましては、これらの業績や配当の基本方針等を総合的に勘案し、1株につき30円(前期の中間配当金と比べ17円50銭の増配)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第85期第2四半期
営業報告書

株式会社ノダ

証券コード: 7879



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ノダは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

木をムダなく使う技術を追求して
持続可能な森林循環に貢献し、
環境にやさしいエコ素材を活用したノダ製品が、
SDGsの達成に貢献いたします。

私たちは、自らの事業を通じて、
SDGsの17ある開発目標のうち以下の目標を達成するために、
グループをあげて取り組みます。

11 住み続けられるまちづくりを

目標 11
「住み続けられるまちづくりを」
誰もが幸せに住み続けられるまちをつくるために、ノダは「サステナブルな木造建築の実現」「エコロジー部材の提供」を通じて安心・安全に暮らせる空間づくりに努めてまいります。

12 つくる責任 つかう責任

目標 12
「つくる責任つかう責任」
持続可能な生産と消費を確保するために、ノダは「木質資源の製品・用途開発」「循環型の木質資源の活用」「廃資源もムダなく使いこなす」に努めてまいります。

13 気候変動に具体的な対策を

目標 13
「気候変動に具体的な対策を」
気候変動の原因となる温室効果ガス(主に二酸化炭素)を削減するために、ノダは生産工場におけるエネルギー効率向上はもとより、太陽光発電などグリーンエネルギーの利用や再生可能エネルギーの利用などにより、地球温暖化防止に努めてまいります。

15 陸の豊かさを守ろう

目標 15
「陸の豊かさを守る」
森林循環に貢献するために、原木生産者の安定販売先としての受け皿になるとともに、自社保有林での伐採後の植林を進め、木質資源の価値創造に努めてまいります。

1. MDFを製造

再生資源・未利用資源である廃木材のチップを繊維化・加熱・圧縮してエコ素材のMDFを製造しています。優れた構造強度や高い耐久性を持っている高耐水MDF(構造用ハイベストウッド)により、より快適な住まいを実現できます。

地震に強い
壁倍率
4.0取得



木質チップを木材繊維へ

エコ素材MDF



構造用ハイベストウッド(MDF)施工例

2. 国産材を使用

日本で育てられた木を積極的に使用しています。循環型資源形成を目指し、環境保全、CO₂の削減、資源保護に貢献しています。



国産針葉樹合板

3. 間伐材を使用

間伐によって木はまっすぐ充分に成長し、森林に水源かん養機能の向上や土砂崩れの予防など様々な効果もたらされます。国産針葉樹合板やMDFの原料として間伐材を積極的に利用することで、間伐材の安定した受け入れ先となり、健全な森林の整備の促進に貢献しています。



高性能林業機械ハーベスタによる間伐作業

4. 植林木を使用

森林資源保護のため、スライダースPシリーズMSタイプ(自然塗装)、国産材大井川杉シリーズは植林木のみを使用しています。良質な木材資源が急速に減少する中、将来における木材産業の発展・維持のために再生可能な植林木を使用しています。



国産材大井川杉シリーズ

～ホームページリニューアル～

当社ホームページをより見やすく使いやすいものにするため、リニューアルいたしました。製品・施工事例の紹介をはじめ、暮らしのご提案、採用情報、IR情報など様々なコンテンツの充実を図りました。

また、当社のYouTube公式チャンネルにて、100年以上の歴史とともに「しんか」を続けるノダの取り組みをご紹介します「NODA BRAND MOVIE」を公開しております。ぜひご覧ください。



トップページ(裏面に記載のURLまたはQRコードからアクセスしてください。)



当社ブランドムービー
<https://www.youtube.com/watch?v=Llqc-1E3tf8>

～ドラマ美術協力～

全国ネットで放映されたドラマに、天然銘木単板ならではの多彩な表情と個性を活かしたフロア「ラスティックフェイス」、内装建材シリーズ「ビノイエ」のクローゼット等を美術協力しました。



フロア：ラスティックフェイス リッチ・Jベース ウォールナット(WT)



フロア：ラスティックフェイス・Jベース エルム(EM)
 クローゼット：ビノイエ アッシュ柄ホワイト色(WA)

Qualt vc
 クオルテ VC

5月より新発売の石目調シートフロア!

木目調以外の柄の需要が増えていることに対応し、抗ウイルス・抗菌性能をもち、サニタリーにも対応可能な石目調化粧シートフロア「クオルテVC」が登場しました。リビングや玄関周りに使用することで、高級感のある一味違った空間を表現できます。



ライムストーンブラック柄



ライムストーンパールグレー柄



マーブルアッシュピンク柄



マーブルホワイト柄

連結財務諸表(要旨)

会社概要・株式情報 (2022年5月31日現在)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第85期 第2四半期末 2022年5月31日現在	第84期 前期末 2021年11月30日現在
資産の部		
流動資産	46,588	40,877
固定資産	24,180	23,121
有形固定資産	14,210	13,692
無形固定資産	840	868
投資その他の資産	9,128	8,560
資産合計	70,768	63,998
負債の部		
流動負債	25,570	22,121
固定負債	7,955	8,373
負債合計	33,525	30,495
純資産の部		
株主資本	32,920	30,267
資本金	2,141	2,141
資本剰余金	1,587	1,587
利益剰余金	29,615	26,962
自己株式	△ 423	△ 423
その他の包括利益累計額	361	△ 186
非支配株主持分	3,960	3,422
純資産合計	37,242	33,503
負債純資産合計	70,768	63,998

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第85期 第2四半期累計期間 2021年12月1日から 2022年5月31日まで	第84期 第2四半期累計期間 2020年12月1日から 2021年5月31日まで
売上高	38,641	30,983
売上原価	27,389	23,444
売上総利益	11,252	7,538
販売費及び一般管理費	6,557	5,975
営業利益	4,694	1,563
営業外収益	346	267
営業外費用	55	93
経常利益	4,985	1,738
特別利益	—	24
特別損失	45	104
税金等調整前四半期純利益	4,940	1,657
法人税、住民税及び事業税	1,472	538
法人税等調整額	△ 41	△ 55
四半期純利益	3,509	1,174
非支配株主に帰属する四半期純利益	526	122
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,983	1,051

会社の概況

会社名 株式会社ノダ
本社 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
設立 1938年1月8日
資本金 21億4,100万円
従業員数 1,025名(連結1,807名)

役員

取締役会長	野田章三	取締役	良知正啓
代表取締役社長	野田 励	社外取締役	塩坂 健
代表取締役専務	野田 四郎	社外取締役	高井章光
常務取締役	島村 明	常勤監査役(社外)	浦田 進
常務取締役	高津原健太郎	常勤監査役	長谷川倫源
常務取締役	中村嘉宏	社外監査役	三浦 悟
常務取締役	辻村 力	監査役	上原敏彦
取締役	宮田佳明		

営業拠点

北海道(札幌市)、旭川、帯広、青森、北東北(盛岡市)、東北(仙台市)、郡山、東京(台東区)、千葉、柏、埼玉(さいたま市)、高崎、宇都宮、茨城(水戸市)、横浜、厚木、西東京(八王子市)、甲府、信越(新潟市)、長野、静岡、沼津、浜松、名古屋、三重(鈴鹿市)、三河(岡崎市)、岐阜、金沢、大阪、京奈(京都市)、兵庫四国(神戸市)、中国(広島市)、北九州、大分、福岡、長崎(諫早市)、熊本、宮崎、南九州(鹿児島市)、沖縄(那覇市)、他

ショールーム

東京都台東区、仙台市、横浜市、静岡市、名古屋市、大阪市、福岡市

工場

静岡県静岡市、静岡県富士市

連結子会社

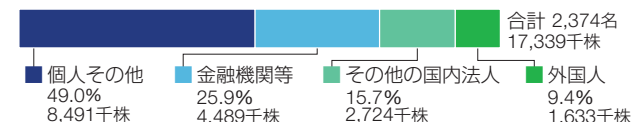
石巻合板工業株式会社 : 宮城県石巻市
アドン株式会社 : 静岡県静岡市
株式会社ナフィックス : 東京都台東区
アイピーエムサービス株式会社 : 宮城県石巻市
PT. SURA INDAH WOOD INDUSTRIES (スラインダー社) : インドネシア

持分法適用関連会社

SANYAN WOOD INDUSTRIES SDN. BHD.(サンヤン社) : マレーシア

株式の状況

発行済株式の総数 17,339千株(自己株式1,054千株を含む)
株主数 2,374名



株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 2月
基準日 定時株主総会 11月30日
期末配当金 11月30日
中間配当金 5月31日
そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数 100株
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
公告掲載新聞 日本経済新聞

《株式に関する手続きのお申し出先について》

- 証券会社等へ当社株式を預けたいしている場合
当社株式を預けたいしている各証券会社等にお申し出下さい。なお、未払配当金の支払い、支払明細発行については、下記「みずほ信託銀行株式会社」の郵便物送付先、電話お問合せ先、お取扱店をご利用下さい。
- 証券会社等へ当社株式を預けたいしていない場合(特別口座)
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先/電話お問合せ先)
〒168-8507東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取扱いできません。

ホームページ、公式SNSのご案内

ノダの最新情報やお役立ち情報をご提供します

ノダ ホームページ	公式Facebook	公式Instagram
	@NODA_corporation	@noda_corporation

ホームページ : <https://www.noda-co.jp>
Facebook : <https://www.facebook.com/NODACorporation/>
Instagram : https://www.instagram.com/noda_corporation/



環境保全のため、FSC® 認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。